

九 防 協 年 報 2 0 2 0

2 0 2 0 年 度 (第 5 0 年 次)



2 0 2 1 年 3 月

一般社団法人 九州病虫害防除推進協議会

序

一般社団法人九州病害虫防除推進協議会（九防協）は1970年（昭和45年）に創立され、2010年（平成22年）4月からの法人化を経て、今年で創立50周年の記念すべき年を迎えることになりました。九防協が50年の長きにわたって事業を継続できたのも、創立以来、ご支援、ご協力を賜っている賛助会員の皆様および農林水産省、農研機構、九州各県の関係機関の皆様、（一社）日本植物防疫協会、農薬工業会をはじめとした関係者の皆様のおかげと改めて心より感謝申し上げます。

この記念すべき年に当たり、毎年5月に開催してきた創立記念講話会には各界からご来賓の方々にお越しいただくとともに、今後の新たな事業展開を行う上でのご助言をいただくために、病害虫分野の第一線でご活躍されている講師の方々にご講演をお願いしていたところでしたが、新年度早々に福岡県を含む7都府県に対して「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出されたため、やむなく中止せざるを得なかったことはまことに残念としかいいようがありませんでした。ご出席を快諾していただいたご来賓の皆様や講師の皆様にはこの場を借りて、あらためてお詫び申し上げます。ただ、記念事業の柱の一つとして数年前から計画しておりました50周年記念誌「戦後九州における主要病害虫に対する取り組みの軌跡（Ⅱ）」が、那の津会の故野田政春前会長や吉村大三郎現会長はじめ、那の津会会員の皆様のご尽力により無事発刊でき、関係者の皆様に広くお配りできたことは明るいニュースの一つでありました。

しかしながら、創立記念講話会以外の行事も新型コロナウイルスの影響を受け、技術研修会や新年賀詞交歓会など、中止とせざるを得なくなった行事もありました。最も懸念されたのが、本会の最重要事業である農薬連絡試験に係る成績検討会や設計会議の開催でした。手指やマイクの消毒、会場の換気、より広い会場への変更、会議終了後の懇談会の中止など、感染防止対策を十分とった上での開催でしたが、残念ながら、県外出張禁止や参加人数の制限など、参画機関の方針もあってか、受託機関がわずか2機関3名のみの出席という会議もありました。一部の機関からはリモート会議の要望もあり、関係者にアンケートをとるなどして検討しましたが、会議によっては日程が丸2日間、出席者が100名近くにのぼるものもあり、本会が従来から実施してきた出席者による議論により最良の試験設計・試験成績に仕上げることはできないおそれがあることから、結局、これまでどおりの会議形式が最適ということになりました。会議の開催時期に新型コロナウイルスの状況がどうなっているか、現時点では全く予測できないところですが、本年も当面、最大限、感染防止対策をとりつつ従来の会議形式で実施していきたいと考えておりますので、皆様のご協力、よろしく願いいたします。

今年度の病害虫関係の話題としては、果樹カメムシ類の全国的な多発と昨年度に引き続きトビイロウンカが西日本地域で大発生したことがあげられます。私の現役時代の経験に照らしてみても、九州でもトビイロウンカが2年続けてこれほどまでに多発した例はなかったのではないかと思います。トビイロウンカ多発の経験の少ない九州地域以外の生産者の皆さんにとって、これまで本種に卓効を示していたブプロフェジン剤やイミダクロプリド剤を含む箱施薬剤等の効果の低下が指摘されている現状では本種の防除に大変苦労されたのではないかと思います。おりしも九防協では3年前から期待の新規薬剤トリフルメゾピリム剤を含む箱施薬剤各種の連絡試験を実施してきましたが、九州各県の試験成績をみると、多発したこの2カ年でも比較的長期間、本種を低密度に抑制できていることから、今後、広く西日本地域での普及拡大が期待されるところです。

新型コロナウイルス感染症につきましては、1年遅れで東京五輪の開催が予定されている本年、その

発生動向が気になるところですが、年明け早々に福岡県を含む 7 都府県対象に 2 回目となる「緊急事態宣言」が発出され、まだまだ収束の気配すら見えません。しかしながら、日本でも 2 月から医療従事者へのワクチン接種が始まっており、4 月からは 65 歳以上の高齢者の方々から順次、接種を進めていくとのことですので、一刻も早く新型コロナに煩わされることなく本会の事業運営や関係者の皆さんが植物防疫事業に専念できる日々が戻ることを切に願っております。

九防協では今年度からドローンを活用した薬剤散布の防除効果試験が始まっており、創立 51 年目となる次年度以降、新たな病虫害防除対策の課題にも取り組みつつ、本会の設立趣旨である九州の農産物の高品質・安定生産に寄与できる新たな病虫害防除法の確立を目指していく所存ですので、皆様方には倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021 年 3 月

一般社団法人 九州病虫害防除推進協議会

代表理事 山 中 正 博